



# 暦について調べる

調べ方の事例

**Q1 元禄15年12月14日は西暦ではいつか？**

**A. 1703年1月30日**

調べ方

西暦（新暦）と和暦（旧暦）が対照できる資料で調べられます。和暦（旧暦）の元号がおおよそ何時代にあたるかもわからないときには、5番の棚にある日本史年表や日本史の辞典に載っている年号索引を使います。年だけわかればよいというときには、日本史の年表でも調べられます。

**！ <西暦（新暦）と和暦（旧暦）が対照できる資料> 太字がQ1で調べた資料です**

資料名	所蔵館	請求記号
『和洋暦換算事典 第5巻 南北朝編』/釣洋一 著/新人物往来社/1995 〔和暦から西暦（ユリウス暦・グレゴリオ暦）を調べられる。対象年代は、慶長5年（1253年）から応永24年（1417年）。曜日も調べられる。〕	西部参考	4493-6-5
『和洋暦換算事典 第6巻 室町・戦国編』/釣洋一 著/新人物往来社/1995 〔和暦から西暦（ユリウス暦・グレゴリオ暦）を調べられる。対象年代は、応永25年（1418年）から天正10年（1582年）。曜日も調べられる。〕	西部参考	4493-6-6
<b>『江戸幕末・和洋暦換算事典』/釣洋一著/新人物往来社/2004</b> 〔和暦から西暦（グレゴリオ暦）を調べられる。対象年代は天正10年（1582年）から明治5年（1872年）。曜日も調べられる。〕	<b>西部参考</b>	<b>4493-6</b>
『日本陰陽暦日対照表 上巻・下巻』/加唐興三郎 編/ニット- /1992-1993 〔西暦（ユリウス暦（1582年まで）・グレゴリオ暦）から和暦を調べられる。対象年代は上巻：445年（允恭天皇34年）～1100年（康和2年）、下巻：1101年（康和3年）～1872年（明治5年）。干支も調べられる。〕	西部参考	4493-7-1,2
『古代中世暦 和暦・ユリウス暦 月日対照表』/日外アソシエーツ編集部編/日外アソシエーツ/2006 〔和暦から西暦（ユリウス暦）を調べられる。対象年代は推古天皇元年（593年）から天正10年（1582年）。日干支、日曜日、節気が調べられる。〕	西部参考	44981-5
『日本暦西暦月日対照表』/野島寿三郎 編/日外アソシエーツ/1987 〔和暦から西暦（グレゴリオ暦）を調べられる。対象年代は天正10年（1582年）から明治5年（1872年）。曜日も調べられる。〕	西部参考	4498-3
『日本暦日総覧 具注暦篇（古代前期1～中世後期4）』/本の友社/1992-1995 〔和暦から西暦（ユリウス暦）を調べられる。対象年代は武烈天皇3年（501年）～明応9年（1500年）。日ごとの干支、節気等の暦注が記載されている。〕	西部参考	4498-5-1-1-5-4

**Q2 過去数年間、今後数年間の六曜（先勝・友引・先負・仏滅・大安・赤口）を知りたい。**

**A. 暦についての参考図書で調べられます。**

調べ方

**！ <明治6年以降の暦が調べられる資料> 太字がQ2で調べた資料です**

『暦日大鑑 明治改暦1873年～2100年』/西沢宥綜 編著/新人物往来社 1994 〔1873年～2100年の年・月・日の暦（西暦、旧暦、曜日、干支、九星、六曜、二十四節気の日・時・分）が調べられる。（2051年からは各月の1日分のみ）〕	西部参考	4498-8
『20世紀暦 曜日・干支・九星・旧暦・六曜』/日外アソシエーツ編集部編/日外アソシエーツ/1998 〔明治6年（1873年）から平成12年（2000）までの、年・月・日の暦（西暦、旧暦、干支、九星、曜日、六曜、二十四節気、主な雑節）が調べられる。〕	西部参考	44981-2

『21世紀暦 曜日・干支・九星・旧暦・六曜』/日外アソシエーツ編集部編/日外アソシエーツ/2000 〔2001年から2100年までの、年・月・日の暦(西暦、旧暦、干支、九星、曜日、六曜、二十四節気、主な雑節)が調べられる。〕	西部参考	44981-3
---	------	---------

**Q3 七夕、中秋の名月は今の暦ではいつか?**

**A. 2009年の伝統的七夕は8月26日、中秋の名月は10月3日でした。**

調べ方

理科年表の暦部や、インターネットの暦に関するホームページに掲載されているほか、Q2で使った資料で、旧暦の7月7日、8月15日の日を調べる方法もあります。

**! <七夕、中秋の名月について書かれた資料・ホームページ> 太字がQ3で調べた資料です**

『理科年表 第82冊(平成21年)』/国立天文台 編/丸善/2008 〔暦部、天文部、気象部、物理・化学部、地学部、生物部、環境部で構成され、暦部にはカレンダーの基準となるその年の暦情報が掲載されている。〕	西部参考	4036-1-09
HP 国立天文台 <a href="http://www.nao.ac.jp/">http://www.nao.ac.jp/</a> 〔天文情報について調べられる。国立天文台天文情報センター暦計算室(れきけいさんしつ)( <a href="http://www.nao.ac.jp/koyomi/">http://www.nao.ac.jp/koyomi/</a> )のページでは、今日のこよみ、今月のこよみ等の情報を掲載。〕 〔トップページ>よくある質問>3. 暦に関する質問>質問3-9)七夕について教えて? ( <a href="http://www.nao.ac.jp/QA/faq/a0309.html">http://www.nao.ac.jp/QA/faq/a0309.html</a> )では2012年までの伝統的七夕の日を掲載。〕		
HP こよみのページ <a href="http://koyomi8.com/">http://koyomi8.com/</a> 〔かわうそ@暦さんのページ。万年カレンダー、新暦(西暦)と旧暦(和暦)変換、太陽・月・惑星・四大小惑星の位置計算等の情報を調べられる。〕 〔トップページ>暦と天文の雑学>中秋の名月はいつ?(旧暦の十五夜は満月か?) ( <a href="http://koyomi8.com/reki_doc/doc_0710.htm">http://koyomi8.com/reki_doc/doc_0710.htm</a> )では2011年までの中秋の名月の日を掲載。〕		

**Q4 七十二候(しちじゅうにこう)について知りたい。**

**A. 二十四節気をさらにこまかく三等分して、一年を五日ごとに分けたのが七十二候である。(『暦の百科事典』より)**

調べ方

暦についての参考図書で調べられます。『現代こよみ読み解き事典』p37~68に由来や読み方、『暦の百科事典』p322~324に読み方と解説、『暦と時の事典 日本の暦法と時法』p117~122に解説と読み方が載っています。

**! <七十二候について書かれた資料> 太字がQ4で調べた資料です**

『現代こよみ読み解き事典』/岡田 芳朗 編著 阿久根末忠 編著/柏書房/1993 〔暦に記載されている二十四節気、暦注、年中行事等の事項について解説している。主な事項には振り仮名がついている。巻末に索引あり。〕	西部参考	4493-8
『暦の百科事典』/暦の会 編/新人物往来社/1986 〔暦に関する基礎的な知識を中心に、日常生活の中で見すごされがちな暦についての疑問に答える目的で編纂されている。巻末に「暦法5000年史年表」、暦に関する参考文献、索引あり。〕	西部参考	4490-2
『暦と時の事典 日本の暦法と時法』/内田正男 著/雄山閣/1986 〔暦、暦注、時刻、暦学に関わる人名等584項目について五十音順に配列。巻末に索引あり。〕	西部参考	4490-1



県立図書館では、このほかにも暦に関する資料を多数所蔵しています。県立図書館ホームページ(<http://www.library.pref.chiba.lg.jp/>)で調べるときには、検索項目で「一般件名」を選択し「暦」と入力して検索します。